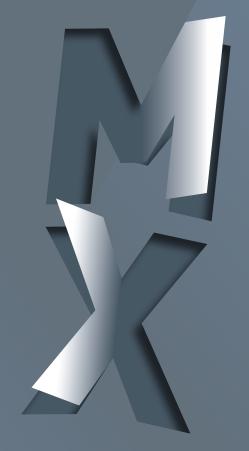
## **DMG MORI**



M A C H I N I N G
T R A N S F O R M A T I O N

第**77**期 中間 株主通信

2024年1月1日 > 2024年6月30日

証券コード・61/11

DMG森精機株式会社

#### トップインタビュー



### DMG MORIは技術革新によって、 持続可能な社会を実現していきます

私たちDMG MORIは、1948年の創業以来、工作機械精度向上への挑戦を続けてきました。

工作機械は、高精度、高速、高剛性、高耐久性を追求し、加工プロセスを 集約することによって、経営資源、エネルギー消費、CO<sub>2</sub>排出量の削減に 貢献できる製品です。

デジタル・トランスフォーメーション(DX)を用いて工程集約・自動化、 グリーン・トランスフォーメーション(GX)を促進するというマシニング・トランスフォーメーション(MX)の普及を通じて、持続可能な社会の 実現と中長期的な企業価値の向上に努めてまいります。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、心よりお礼申し上げます。 ここに第77期中間期(2024年1月1日から2024年6月30日まで)の株主通信をお届けするにあたり、 ご挨拶申し上げます。

## 2024年12月期中間期の業績は?

当中間連結会計期間における業績は、売上収益は2,637億円 (1,602百万EUR)、営業利益は232億円(141百万EUR)、税引前中間利益は205億円(125百万EUR)、親会社の所有者に帰属する中間損失は9億円(6百万EUR)となりました。

第1四半期に、ロシア製造子会社Ulyanovsk Machine Tools ooo(UMT)がロシア政府に収用されたことにより、当該会社を連結対象から除外したことによる損失91.8百万EURを

計上しましたが、DMG MORI グループはドイツ政府が 提供する海外直接投資保険に加入しており、保険求償を行って おります。

中間期の連結受注額は、2,667億円となり、前年同期(2023年1~6月)比では3.3%減となりました。一方、機械1台当たりの受注単価が、2023年度平均の61.9百万円(40.7万EUR)から73.4百万円(44.6万EUR)へと大きく伸長しました。また、連結受注額の23%を占める補修部品・サービスの受注額が前年同期比12%増と寄与いたしました。

地域別受注額は、前年同期に比べて、米州、欧州で順調に拡大、

日本、中国、アジアで減少しました。産業別の需要は、メディカル、 民間航空機、宇宙、金型が好調に推移し、半導体関連も4~ 6月期から回復基調にあります。

※ユーロ建表示は2024年1~6月の期中平均レート164.6円で換算しております。

#### 2024年12月期中間期の 技術と成果は?

グループ最大の生産拠点である三重県伊賀事業所で、大型高精度部品の生産や生産性向上を目的として第3精密加工工場の稼働を開始いたしました。工場にはドイツ・フロンテン工場で生産された超大型5軸加工マシニングセンタDMU1000 SEを導入し、お客様に提案するマシニング・トランス

フォーメーション(MX)について自社でも体現しています。 技術面では、DXを実現する新たなヒューマンマシンインタフェース「ERGOline X with CELOS XJを開発いたしました。当製品は人間工学に基づいた大画面タッチパネル操作盤ERGOline Xと多様なアプリケーションを実装するソフトウェアCELOS Xで構成されており、機械をネットワークに接続しDXを実現することで生産性を向上させます。また、グループ会社の株式会社WALCは、工作機械の予知保全を行うヘルスモニタリングサービス「WALC CARE(ウォルクケア)」を開発しました。本サービスは、主軸や送り軸の定期的な異常予知診断により、故障を早期発見し、故障時のダウンタイムを短縮します。

人材育成の面では、全国のお客様や地域の学生に対し、当社

#### 連結売上収益



#### 連結営業利益



# 親会社の所有者に帰属する中間利益



- ※第1四半期(1~3月)に、ロシア製造子会社(UMT)の連結除外損失91.8百万EURを計上しています。DMG MORI グループはドイツ連邦共和国政府が提供している海外直接投資保険に加入しており、保険求償を行っております。2024年度通期計画は年度内に当該金額の同保険の確定を前提としています。
- ※第1四半期(1~3月)より、ロシア製造子会社(UMT)に係る事業を非継続事業に分類しています。売上収益、営業利益は継続事業の金額のみを表示し、親会社の所有者に帰属する中間利益(△損失)は、非継続事業の損益を含んだ金額を表示しています。なお、前中間連結会計期間についても同様に組み替えて表示しています。

1 第77期中間株主通信

#### トップインタビュー

実機を用いた加工に関するトレーニングの場としてDMG MORI ACADEMY岡山を開所しました。本研修施設の新設は浜松、金沢、仙台に続く4拠点目で、2025年以降には九州地方での開所も予定しております。

資源循環型の社会に向けた取り組みとして、自家消費型太陽光発電システムや木質バイオマスガス化発電設備を導入しております。これらをはじめとする当社の取り組みが高く評価され、2024年2月に国際環境非営利団体CDPによる調査[CDP2023]において、気候変動部門及び水セキュリティ部門でリーダーシップレベル[A-]の評価を獲得いたしました。また、6月に、2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにする「ネットゼロ」の目標において、国際的な環境団体のSBTイニシアチブから認定を取得しております。

人的資本経営の面では、2024年3月には健康経営に優れた 上場企業として「健康経営銘柄2024」に初めて選定された ほか、特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰する「健康経営優良法人2024」の大規模法人部門「ホワイト500」にも2年連続で認定されました。

※「健康経営」は特定非営利活動法人健康経営研究会の登録商標です。

# Q

#### 2024年12月期通期の見通しは?

2024年度の連結受注額見通しを従来の5,200億円から5,300億円へ増額修正しました。半導体製造装置及び自動化関連の精密関連部品向けの需要が増加に転じ、工作機械需要の増加に貢献する見込みです。従来の大手・中堅企業からの堅調な需要に加えて、中小企業からの需要が増加し始めたこともプラス要因となります。超精密部品の加工は、ワンチャッキングで加工することで、より高い精度を

#### 地域別受注構成 ※金額ベース







 $\ensuremath{\ast}$  Europe excl. Germany, the Middle East and Africa

実現できるため、工程集約とあわせて当社主力の5軸加工機及び複合加工機の需要増につながるものと期待しています。年度業績については、第1四半期に増額修正した、売上収益5,500億円(前年度比:2%増)、営業利益585億円(同:6%増)、当期利益360億円(同:6%増)を計画しています。営業利益率は、受注及び受注残の粗利益率の改善と安定収益の補修部品・サービス部門の伸長により10.6%(前年度:10.3%)へ改善する見込みです。6月末で2,730億円と豊富な受注残を抱えており、2桁で安定成長している補修部品・サービス部門の貢献とあわせて年度業績の達成

確度は、より高まっているものと考えています。

ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

当該業績見通しをベースに、年間配当は期初計画通り1株当たり100円を予定しております。

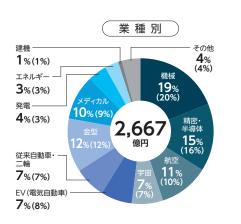
当社は、2023~2025年を期間とする「中期経営計画2025」でも掲げている通り、工程集約・自動化・DX・GXにより、お客様へ、より付加価値の高い製品、システム、サービスを提供すること、これにより環境負荷を低減させ、地球環境保護にも貢献するといった、MX推進による持続的な成長を目指しております。株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援と

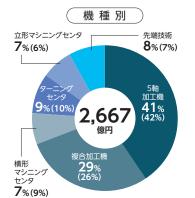
2024年度上半期決算説明会のオンデマンド配信をこちらからご覧いただけます。

#### https://www.dmgmori.co.jp/corporate/ir/ir\_library/video/

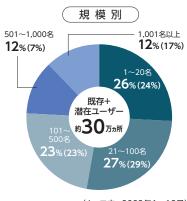


#### 受注構成 ※金額ベース





2024年度 中間期 (1~6月)



(カッコ内: 2023年1~12月)

3 第77期中間 株主通信 4

#### ポイント解説

#### 連結財政状態計算書

(単位:百万円)

	前期	当中間期
科 目	2023年 12月31日現在	2024年 6月30日現在
流動資産	323,773	344,656
非流動資産	442,033	483,238
有形固定資産	189,231	203,965
のれん	85,587	93,901
その他の無形資産	100,909	109,713
その他	66,306	75,659
資産合計	765,806	827,894
流動負債	376,633	354,827
非流動負債	116,627	141,669
資本合計	272,545	331,397
負債及び資本合計	765,806	827,894

#### 連結指益計算書(中間期)

(単位:古万円)

	(丰四:日/川 川	
	前中間期	当中間期
科目	自 2023年 1月 1日 至 2023年 6月30日	自 2024年 1月 1日 至 2024年 6月30日
収益合計	256,646	272,191
売上収益	249,538	263,717
その他の収益	7,108	8,474
費用合計	234,064	248,978
商品及び製品・仕掛品の増減	△ 26,105	△ 3,947
原材料費及び消耗品費	124,423	106,904
人件費	82,018	89,465
減価償却費及び償却費	12,426	15,183
その他の費用	41,301	41,371
営業利益	22,582	23,213
税引前中間利益	19,712	20,531
継続事業からの中間利益	14,924	14,372
非継続事業からの中間損失	△ 16	△ 15,128
中間利益(△損失)	14,907	△ <b>756</b>
親会社の所有者	14,909	△ 933
非支配持分	△ 1	177

#### 総資産/親会社所有者帰属持分比率



#### 連結キャッシュ・フロー計算書(中間期)

	前中間期	当中間期
科目	自 2023年 1月 1日 至 2023年 6月30日	自 2024年 1月 1日 至 2024年 6月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,377	42
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,212	△ <b>16,951</b>
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,137	3,475
現金及び 現金同等物に係る換算差額	3,527	2,741
現金及び 現金同等物の増減額(△は減少)	3,830	△ 10,692
現金及び 現金同等物の期首残高	36,992	39,212
現金及び 現金同等物の中間期末残高	40,822	28,519

詳しい解説は「IR資料 決算説明資料・ 決算リリース」よりご覧いただけます。 DMG森精機 投資家 検索

https://www.dmgmori.co.jp/corporate/ir/

## 利益増減要因は?

2024年度中間期の売上収益は2,637億円で前年同期比6%増 営業利益は232億円で同3%増、営業利益率は8.8%(前年同期 9.0%)、継続事業からの当期利益は144億円で同4%減となり ました。円安の売上への影響額は約260億円となりました。 お客様への価値提案による粗利益改善で60億円、生産性 改善などで20億円、為替で32億円、併せて112億円のプラス要因と なりました。一方、為替の影響を除く実質売上減により62億円、 グローバル給与改定及び修理復旧部門の採用強化による人件費 増で30億円、減価償却費などの増加で14億円、併せて106億円の 負担増となりました。実質売上減の影響を粗利益の改善でほぼ 吸収できたことは、大きな成果であったと考えております。

#### 「中期経営計画2025(2023~2025年度)」の 見通しは?

工作機械受注が増加基調に転じたことで、「中期経営計画2025」の 業績目標及び財務目標の達成に自信を深めています。売上収益 6.000億円営業利益720億円、当期利益480億円の達成を目指して おり、営業利益率は12%、当期利益率は8%へと当初計画通りに 改善する見込みです。工程集約、自動化、DX、GXがお客様に浸透し、 平均受注単価の上昇、値引き率低減による粗利益の改善も継続して います。事業の拡大、収益率の改善に伴い、現金創出能力も向上して おり、有利子負債の削減により財務体質の強化を進めてまいります。 財務面では、ハイブリッド資本を含む純有利子負債残高で800億円 程度、株主資本比率50%超の達成を目指します。当該業績・財務 構造により、ROEは12%以上を確保できる見込みです。

#### デジタルツインショールームのご案内

当社Webサイトに公開のデジタルツインショールームでは、 伊賀、奈良、ドイツ・フロンテン工場内のショールームを フルCG製作で再現しています。機械の周囲を確認できる 360°VIEW機能や機内VIEWなど、デジタル空間でしか できない体験を提供しています。日本語、英語、ドイツ語、 中国語の4言語に対応し、機械だけでなく、自動化 システムや加工ワーク、治具・工具・周辺装置などの 製品、コンテンツをデジタル展示し、製品情報やカタログ、 展示に応じた特集ページ、関連動画にも直接つながり ます。24時間365日まるでショールームを歩いている ような没入感をぜひご体感ください。





TOP VIEW



360°VIFW

5 第77期中間 株主通信

# グローバルネットワーク Americas Asia ' Japan Europe 全世界でお客様をサポートしています。 ● セールス&サービス ● グループ会社 ● 生産・開発拠点



**⑮** Tortona (イタリア)

**20** Pinghu (中国)

※主要開発・生産拠点、ほか数ヵ所

#### ■ 大物鋳物部品の切削、研削加工に対応 | 伊賀事業所 第3精密加工工場稼働

当社グループ最大の生産拠点である伊賀事業所(三重県伊賀市)に、工作機械のベッドやコラムなどの大物鋳物部品の加工を行う第3精密加工工場の稼働を開始しました。伊賀事業所では、これまで2棟の精密加工工場にて内製部品の加工を行っていましたが、5軸・複合加工機の需要増加による大型高精度・高品質部品の生産増加への対応や、内製化や工程集約による品質向上、生産性向上をさらに推進するため、第3精密加工工場を新設いたしました。ドイツ・バイエルン州のフロンテン工場で生産された超大型5軸加工マシニングセンタDMU 1000 SEを3台導入、現在2台が稼働し、従来の他社製大型5面加工機と大型研削盤を自社製の機械に置き換え、加工時間を約1/3に削減しました。

当社はマシニング・トランスフォーメーション(MX)を推進しており、DXを用いて工程集約、自動化を積極的に促進し、GXを実現する当社拠点は、訪問されるお客様に具体的にMX導入について体感いただくショールームの役割も担っています。今後、高精度かつ高効率な内製化のノウハウをグループ全体にも展開するとともに、世界中のお客様の生産性向上、サステナブルな社会の実現へ貢献してまいります。





超大型5軸加工マシニングセンタ DMU 1000 SE

#### ■ AIを活用した予防保全「WALC CARE」



WALC CARE KIT

工作機械に搭載することで、機械故障時のダウンタイムを最小化するヘルスモニタリングサービス 「WALC CARE(ウォルクケア)」を開発しました。WALC CARE KITを取り付けることで、AIがセンサーデータを分析し、主軸や送り軸の異常予知診断を定期的に行い、故障の早期発見や予知保全を実現します。これにより、機械のダウンタイムを大幅に短縮し、お客様の生産性向上をサポートします。WALC CAREは、簡単な診断で機械の状況を把握し、収集したデータを基に正確な診断を行います。診断結果は専用のアプリケーションで確認でき、故障発生前後の状況を比較することで、生産プロセスの改善にも貢献します。また、既存の工作機械への搭載も1時間以内に完了し、すぐに利用可能です。WALC CAREを利用することで、工作機械を正常な状態でより長く使用できるため、保全作業のDXを推進します。

#### ■ 生産現場全体の生産性を向上「ERGO*line* X with CELOS X」

快適な操作性とDXにより生産現場全体の生産性を向上させる新たなヒューマンマシンインタフェース「ERGOline X with CELOS X」を開発しました。ERGOline Xは大画面タッチパネルを備えた操作盤で、CELOS Xは多種多様なアプリケーションを実装するソフトウェアです。ERGOline Xは、スマートフォンにも採用されている静電式タッチパネルを搭載し、作業手袋を付けた状態でも操作可能です。また、CELOS Xは、加工準備、生産、モニタリング、アフターサービスを行うアプリケーションが実装可能で、生産現場のDXを実現します。最新機種である5軸制御横形マシニングセンタINH 63/INH 80と複合加工機NTX 500、NZ-Platformに搭載しており、今後全機種に展開予定です。当社は、ERGOline X with CELOS Xを通じて、お客様のDXをサポートし、マシニング・トランスフォーメーション(MX)を実現してまいります。



NTX 500 + ERGOline X with CELOS X

CELOS X 紹介動画





使用済みの工作機械(原材料として再利用)

DMG森精機 CIRCULARの 取り組み紹介動画



#### ■ サーキュラーエコノミーの実現に向けて

中古機のリビルドやオーバーホールを行うグループ会社のDMG森精機 CIRCULAR株式会社では、使用済みの工作機械の鋳物や機械加工時の切りくずを回収し、鋳物製造を行うグループ会社のDMG MORIキャステック株式会社(島根県出雲市)で溶解し、新たな工作機械の鋳物として再利用しています。2025年にはDMG MORIキャステックが1年間に購入する銑鉄約5,000トンのうち1,000トンを品質が担保されたリサイクル素材に切り替えることで、鋳物の原料である銑鉄の生産時に発生する $CO_2$ を年間約1,800トン削減できる計画です。当社は、製品のライフサイクルを通じた資源の有効活用と、環境負荷の低減に取り組んでおり、環境に配慮した製品・サービスの提供を通して、持続可能な循環型経済(サーキュラーエコノミー)に貢献してまいります。

当社はCO<sub>2</sub>排出量削減や資源循環型の 社会に向けた取り組みを行っています。

当社のサステナビリティへの取り組みについて、 Webサイトにて詳しくご紹介しています。 https://www.dmgmori.co.jp/corporate/sustainability/



#### SBT「ネットゼロ目標」の認定を取得 気候変動への対応

2024年6月に、2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにする「ネットゼロ」の 目標認定を国際的な環境団体のSBTイニシアチブから取得しました。2021年に認定を 取得した目標では、2019年の温室効果ガス総排出量を基準として、2030年までに Scope 1及びScope 2で46.2%の排出削減、Scope 3で13.5%の排出削減を目標と していました。新たな目標では、2030年までのScope 3の排出削減を27.5%に 引き上げ、2050年までにScope 1~3の合計で90%の排出削減に取り組みます。 Scope 1、2においては、国内外の工場の屋根を利用した太陽光発電システムの導入や CO2フリー電力の購入などによって排出削減を実現しています。Scope 3においては、 電気炉とCO<sub>2</sub>フリー電力を使用して鋳造された鋳物の調達、製品ライフサイクルの 各段階でのサーキュラーエコノミーの推進、生産効率を向上させる工程集約機の





拡販を通じて、サプライチェーン全体で温室効果ガスの排出削減に取り組んでまいります。

当社が推進するマシニング・トランスフォーメーション(MX)は、お客様の生産性向上と経営資源の節約になり、CO2排出量の 削減につながります。今後も持続可能な社会の実現に向けて積極的に取り組んでまいります。

当社は、2024年3月、健康経営に優れた上場企業として、経済産業省と東京証券取引所による 「健康経営銘柄 2024」に初めて選定されました。同銘柄は従業員等の健康管理を経営的な視点で 考え、戦略的に取り組んでいる企業を選定するものです。また、経済産業省と日本健康会議により、 特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰する「健康経営優良法人 2024」の大規模法人 部門「ホワイト 500」に2年連続で認定されました。今後も「よく遊び、よく学び、よく働く」を体現する 従業員の意欲的な働きに期待するとともに、会社をあげて組織的な健康増進施策を推進する ことにより、従業員が心身共に健康で個々の能力を発揮できるように取り組んでいきます。



健康経営宣言 Webサイト



#### スポーツ、地域貢献

#### DMG MORI SAILING TEAM 2大会連続で Vendée Globe 2024への出場が内定



当社が2018年に立ち上げたDMG MORI SAILING TEAM (以下、当チーム) のスキッパー 白石康次郎選手が、2024年11月10日スタート 予定の単独無寄港無補給世界一周ヨットレース 「Vendée Globe2024(ヴァンデ・グローブ)」に 出場が内定しました。当チームは、白石選手とともに 2020年に開催された前回大会へ出場し、33艇中 16位にてアジア人初の完走を達成いたしました。 その後、2022年よりVendée Globe2024の 予選レースへ出場してまいりました。Vendée Globe2024でもレースの完走を目指してまいり ますので、皆様のご声援をお願いいたします。 また、当チームは若手スキッパーの育成と日本に もっとヨット・セーリング文化を広げるため 活動しています。







#### 従業員の心身の一層の健康増進を目指す



#### 複合施設[SHINDO YARDS]開設

三重県伊賀市にある当社伊賀事業所の周辺地域をより魅力ある街とする 取り組みを進めています。最寄りのJR関西本線新堂駅の駅前に教育、 文化、行政施設等が集まる複合施設「SHINDO YARDS(シンドウ ヤード)」を開設しました。施設内で伊賀市と当社が共同で運営する図書館 「BOOKMARK STORAGE」は、"本に出会う図書館"をコンセプトに、 一般書に加えて芸術、ワイン、音楽、海洋、スポーツや工学等、当社の取り 組みに特化したジャンルを含む、2万冊の図書を所蔵しています。また、 施設内にはアート作品を展示し、電車を待つ間にくつろいだり、ゆっくりと 憩いの時間を過ごせるカフェを併設しています。

11 第77期中間 株主通信 第77期中間 株主通信 12

#### 会社の概要

2024年6月30日時点

会社名	DMG森精機株式会社
資本金	71,230百万円
設立	1948年10月
グローバル本社	東京グローバルヘッドクォータ 〒135-0052 東京都江東区潮見2丁目3-23 TEL: 03-6758-5900(代)
第二本社	奈良商品開発センタ 〒630-8122 奈良県奈良市三条本町2番1号
主な事業内容	工作機械(マシニングセンタ、ターニングセンタ、5軸加工機、複合加工機、アディティブ・マニュファクチャリング機及びその他の製品)、ソフトウェア(ユーザーインタフェース、テクノロジーサイクル、組込ソフトウェア等)、計測装置、修理復旧サポート、アプリケーション、エンジニアリングを包括したトータルソリューションの提供
従業員	13,813名(連結)
Webサイト	https://www.dmgmori.co.jp

#### 役員

12424		
取締役社長 ※ 雅彦	取締役 アルフレッド ガイスラー	
取締役副社長 ※	取締役 イレーネ バーダー	取締役 河合 江理子
取締役副社長 小林 弘武 ※	取締役 御立 尚資	常勤監査役 柳原 正裕
取締役副社長 藤嶋 誠	取締役 中嶋 誠	監査役 川村 嘉則
取締役副社長 ジェームス ヌド	取締役 渡邊 弘子	監査役 岩瀬 隆広

- (注)1. ※印は、代表取締役を示しています。
- 2. 取締役の御立尚資、中嶋誠、渡邊弘子、光石衛、河合江理子の5名は、社外取締役です。 3. 監査役の川村嘉則、岩瀬隆広の2名は、社外監査役です。

#### 株式の状況

2024年6月30日時点

2024年6月30日時点

発行可能株式総数	300,000,000株
発行済株式の総数	141,574,896株(自己株式380,694株を除く)
単元株式数	100株
中間期末株主数	35,639名

#### 大株主

2024年6月30日時点

/\/\_	20244	-01 100 mJ/m
株 主 名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	19,792	13.98
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	19,020	13.44
DMG森精機従業員持株会	4,490	3.17
MSIP CLIENT SECURITIES (常任代理人 モルガンスタンレーMUFG証券株式会社)	4,140	2.92
森 雅彦	3,591	2.54
株式会社日本カストディ銀行 (森記念製造技術研究財団口)	3,500	2.47
JPモルガン証券株式会社	3,451	2.44
GOVERNMENT OF NORWAY (常任代理人 シティバンク、エヌ・エイ東京支店)	2,533	1.79
野村信託銀行株式会社(投信口)	2,231	1.58
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140051 (常任代理人 株式会社みずほ銀行)	2,143	1.51

(注)持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別分布状況
----------

		株式数 (千株)	株主数 (名)
	機関		50
(うち	証券投資信託	40,188)	
■外国	法人等(個人以外)	47,908	336
■個人	•その他	34,748	34,880
■金融	商品取引業者	6,695	37
■その	他の法人	1,675	254
■自己	名義株式	380	1
■外国	法人等(個人)	24	81



#### 株主メモ

事業年度	毎年1月1日~12月31日		〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号	
期末配当金 受領株主確定日	毎年12月31日	同連絡先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話:0120-782-031(通話料無料) 受付時間 9:00~17:00	
中間配当金受領株主確定日	毎年6月30日		(土日祝日および年末年始12/31~1/3を除く)	
		上場証券取引所	株式会社東京証券取引所 プライム市場	
定時株主総会	毎年3月		電子公告により行う	
株主名簿管理人 および特別口座 の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社	公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.dmgmori.co.jp (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを 得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)	

#### (ご注意)

- 1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三井住友信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2. 特別□座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三井住友信託銀行が□座管理機関となっておりますので、上記特別□座の□座管理機関(三井住友信託銀行)にお問い合わせください。
- 3. 払渡しの期間経過後の未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行全国本支店(コンサルティングオフィス・コンサルプラザを除く)でお支払いいたします。

#### TVCM、ミニ番組のご案内

#### TVCM [DMG MORI × Front Runner]

先進的かつ独自の取り組みをしておられるお客様を、業界注目の フロントランナーとしてご紹介しております。日々進化する 生産現場の取り組みを、ぜひご確認ください。



BSテレビ東京 | 毎月第1・2火曜 22:53~22:55の間の90秒



TVCM Front Runner シリーズ



#### ミニ番組「港時間」

世界の港にスポットを当て、世界各国の綺麗な港まちや 風景を伝え、それぞれの港の生活や、そこに根付く文化、 人々とヨットとの関わりについても紹介しています。



関西エリア

関東エリア テレビ朝日 | 毎週土曜 22:55~23:00

部エリア

ABCテレビ | 毎週金曜 23:10~23:17

メーテレ |毎週日曜 17:25~17:30



テレビ朝日 番組サイト



※番組編成が行われる場合は、放送時間の変更の可能性がございます。

#### 株主優待の ご案内

#### 反田恭平/ジャパン・ナショナル・オーケストラ(JNO) コンサートご招待



株主の皆様の日頃のご支援に対する感謝の意を込めて、2024年12月末時点で、当社株式500株以上を1年間以上継続して保有する株主様を対象として、2025年に開催予定のJNOのコンサートにご招待いたします(チケット1枚もしくは2枚のいずれかご希望の枚数)。2024年6月に昨今の当社株式の株価の変動を踏まえ、保有株数の要件を1,000株以上から変更しました。ご参加が難しい方には、CDを贈呈いたします。申し込みの詳細は、2025年3月に送付予定の第77回定時株主総会招集ご通知にてご案内いたします。

#### ジャパン・ナショナル・オーケストラ(JNO)

第18回ショパン国際ピアノコンクールで2位を受賞した反田恭平氏が設立した、若手ソリスト20名によるオーケストラ。当社は2018年より反田氏を応援しており、2021年5月に反田氏とともにジャパン・ナショナル・オーケストラ株式会社を設立。本拠地奈良から世界に発信する若手精鋭アーティスト集団。







#### Webサイトのご案内

Webサイトにて当社の企業情報を随時公開しています。

商品紹介、各種リンク、サポート情報などを掲載しているほか、コーポレートページではニュースリリースなどもご覧いただけます。 また、株主・投資家情報ページにて決算説明会の様子をオンデマンド配信しています。

#### https://www.dmgmori.co.jp/corporate/ir/





TOPページ



コーポレートページ



株主・投資家情報ページ







